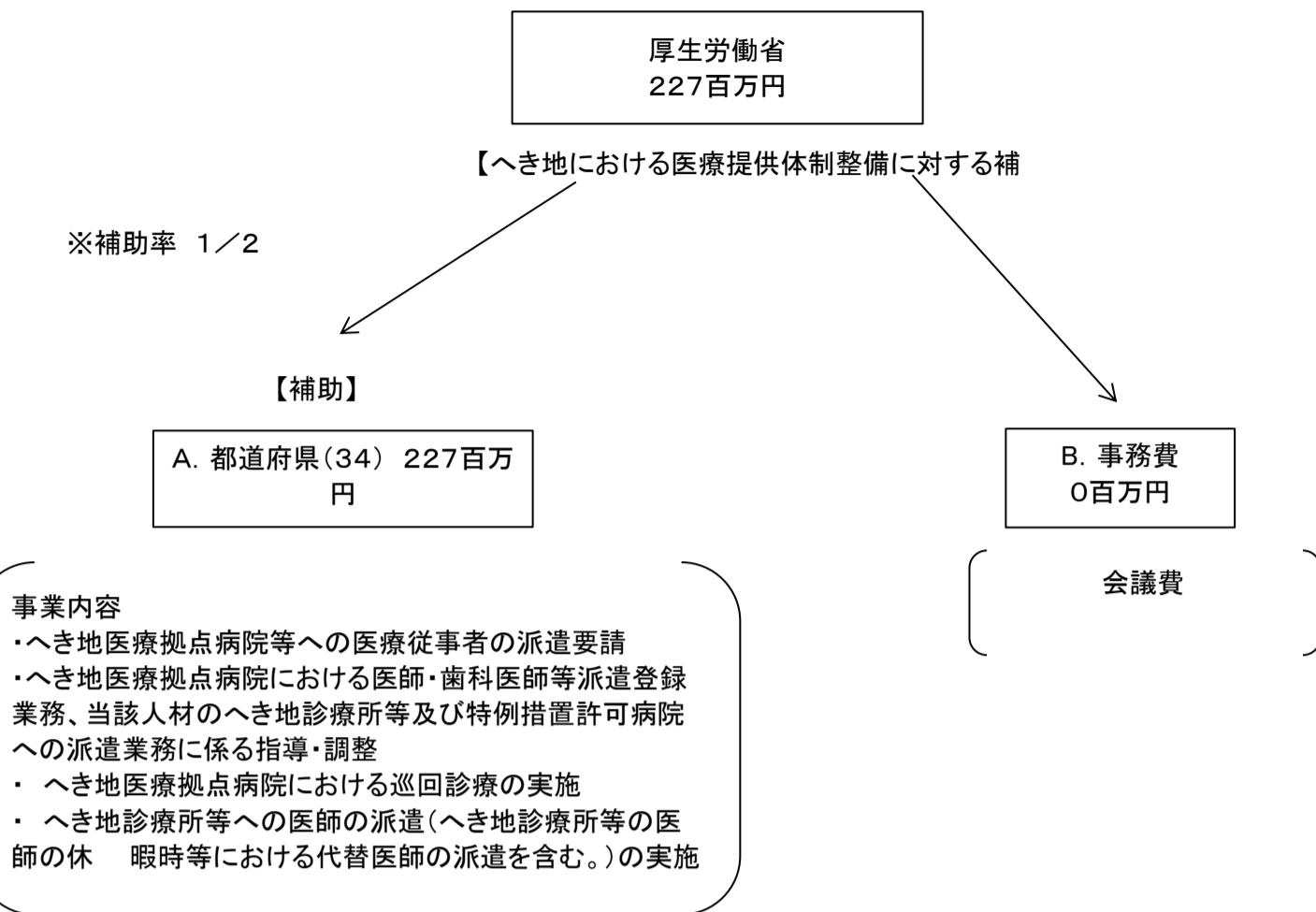


平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	へき地における医療提供体制整備の支援		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:田中 剛		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第10次へき地保健医療計画 第11次へき地保健医療計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県単位で「へき地医療支援機構」を設置し、へき地診療所及び過疎地域等特定診療所並びに医師配置標準の特例措置の許可を受けた病院からの代診医の派遣要請等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行い、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的とする。 また、全国の機構が参加して、国や他の都道府県並びに有識者と取組に関する情報交換等を行う機会を設け、へき地保健医療対策の質の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> へき地医療拠点病院等への医療従事者の派遣要請に関する事。 へき地医療拠点病院における医師・歯科医師等派遣登録業務、当該人材のへき地診療所等及び特例措置許可病院への派遣業務に係る指導・調整に関する事。 へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関する事。 へき地診療所等への医師の派遣(へき地診療所等の医師の休暇時等における代替医師の派遣を含む。)の実施に関する事。 へき地従事者に対する研修計画・プログラム作成、キャリア形成推進に関する事。 ドクタープール機能の機能強化 ・ へき地医療支援機構交流促進会議の開催。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	326	294	259	259	268	
		補正予算	▲ 78					
		繰越し等						
	計	248	294	259	259	268		
	執行額	242	251	227				
執行率(%)	97.6%	85.4%	87.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	へき地医療支援機構設置数 (無医地区を有する都道府県(43県)全てに設置)		成果実績	か所	39	39	40	-
			達成度	%	90.7	90.7	93	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	・補助件数 ・会議開催回数		活動実績 (当初見込み)	・補助件数35件 ・会議開催 2	・補助件数35件 ・会議開催 1 (-)	・補助件数34件 ・会議開催 1 (-)	- (-)	
単位当たりコスト	6,670,059(円/件)		算出根拠	24年度執行額 / 機構設置数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医療施設運営費等補助金	258.2	258.2	次期へき地保健医療計画の策定に備えて、全国の無医地区及び無歯科医地区等の実態を調査(5年度毎に実施)するとともに、無医地区及び無歯科医地区の解消に向けた総合的なへき地保健医療対策(第12次へき地保健医療計画)について検討を行うための経費を要求したため。				
	諸謝金	0.3	2.5					
	委員等旅費	0.6	4.2					
	庁費	0.1	3.2					
計	259	268						

事業所管部局による点検					
	項目			評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 要 求	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	未だ無医地区等が多く存在しており、ニーズがある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	都道府県・地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国の施策として進めていくべきものである。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	未だ無医地区等が多く存在しており、優先度が高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—	—
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	受益者も応分の負担をしており妥当。
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	当事業は都道府県直接事業である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	補助対象がへき地医療支援機構に対する運営費であるため、費目・使途が事業目的に則し、真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	本事業はへき地医療支援機構の運営費であり、各都道府県において、代診等のへき地医療の需要などが、ある程度、年度によって増減する。平成24年度においては、執行率が9割弱であり、適正な範囲であると考えられる。
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	代替できる手段がない。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—	—
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—	—
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	—
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点 検 結 果	未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題であるため、引き続き、国の施策として進めていくことが必要である。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通 り	へき地における医療提供体制整備の支援については、都道府県単位で「へき地医療支援機構」を設置し、代診医の派遣要請等、広域的なへき地医療支援事業の企画・調整を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	—				
備考					
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号:B5-2 社会保障:医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ):国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	26	平成23年	0025	平成24年	26

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	へき地医療支援機構の運営に係る人件費	81			
計		81	計		0
B.ファミリーマート中央合同庁舎5号館店			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	会議のために必要な経費	0			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	へき地医療支援機構の運営	81		
2	沖縄県	へき地医療支援機構の運営	17		
3	三重県	へき地医療支援機構の運営	10		
4	島根県	へき地医療支援機構の運営	10		
5	福井県	へき地医療支援機構の運営	10		
6	徳島県	へき地医療支援機構の運営	9		
7	北海道	へき地医療支援機構の運営	8		
8	石川県	へき地医療支援機構の運営	7		
9	愛媛県	へき地医療支援機構の運営	7		
10	兵庫県	へき地医療支援機構の運営	7		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ファミリーマート中央合同庁舎5号館店	会議のために必要な経費	0	随意契約	